



子ども大学よこはま
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

2017年度 第4回授業の報告

日時:2017年11月18日(土曜日)14:00~16:00/場所:横浜市立大学金沢八景キャンパス カメリアホール

冬の到来を思わせる寒い日でしたが、会場は笑いでほかほかでした。
出席した“学生”は、全部で50人、4年生16人、5年生20人、6年生14人でした。

<第4回授業プログラム>

「子ども落語会 ～おはなしと落語」

講師：立川晴の輔（たてかわ はれのすけ）先生（落語家）

テレビ神奈川（tvk）「キンシオ」、BS日テレ「笑点 若手大喜利」に出演中。
公式HP <http://www.harenosuke.com/>

落語の演目（えんもく）：

①『桃太郎』

「昔むかし……」。

子どもを寝かしつけようと昔話を始めたお父さん。さて子どもはすなおに寝てくれるでしょうか？

②『松竹梅（しょうちくばい）』

松、竹、梅とおめでたい名前の3人組。結婚式に招かれて、お祝いの口上（こうじょう）を述べることになりましたが、はたして上手にできたでしょうか？



※赤い毛氈と座布団は、子ども大学の趣旨をご理解くださった<横浜テクノタワーホテル>様より無償にてお借りいたしました。厚くお礼申し上げます。

先生といっしょに



＜授業報告＞ 落語は想像力！

「きく」と「きこえる」の違いは？ 「何をしているか想像してみよう」
小ばなしを交え、学生たちとやりとりしながら、「なんにもないから、なんでもある」落語の楽しさを
ぞんぶんに体験できた授業でした。

先生への質問と回答（抜粋）

質問：落語はいつ頃から始まったのですか？

回答：江戸時代の中期頃、お坊さんのお話や、お殿様に仕えるお伽衆（おとぎしゅう）などから進化した
といわれています。

質問：なぜ、落語家は扇子（せんす）を持っているのですか？

回答：扇子でいろんなことを表現するからです。そのために白い扇子を使っています。

質問：落語は全部でいくつぐらいあるのですか？

回答：今は500から1000といわれています。つまらない話はなくなってしまいます。

質問：同じ物語でも落語家によって違うのですか？

回答：最初は型どおりやります。そこから自分なりの味付けをしていきます。

質問：正座はしびれませんか？

回答：落語をやっているときは全然しびれません。でも師匠に怒られているときは3分でしびれます！

質問：手ぬぐいは、みんな自分の（オリジナルの）手ぬぐいをもっているのですか？

回答：持っている人と持っていない人がいます。晴の輔は自分の手ぬぐいがあります。

質問：着物は何色を着なくてはいけないというきまりがあるのですか？

回答：きまりはとくにありません。でも自分が着たい色と似あう色は違います。見る人によっても似あう
色は違うので、何色を着たらいいか、わからなくなってしまいました！

質問：どうして落語家になったんですか？（保護者）

回答：なりたかったからです！ 師匠の落語を4年間見続けて気持ちが変わらなかったから、弟子入りし
ました。

質問：晴れ男ですか？（保護者）

回答：雨男です！

【授業後のアンケート】

＜学生の回答から＞

50名中、47名（4年生：16名、5年生：18名、6年生：13名）がアンケート提出してくれました。

1. 落語を実際に聞いたことがありますか？

全体の27.7%（13名）の学生は落語を実際に聞いたことがあると回答しています。

学年別：4年生は31.3%（5名）、5年生は11.1%（2名）、6年生は46.2%（6名）が落語を実際に聞いた
ことがあると回答しています。

2. 今日の授業は楽しかったですか？

これまでで初めて、出席者全員が楽しかったと回答しています。

3. もっと知りたいと思ったことがありましたか？

全体の40.1%（19名）学生がもっと知りたいことがあったと回答しています。

学年別：6年生53.8%（7名）、5年生の38.9%（7名）、4年生の31.3%（5名）

＜もっと知りたいと思ったこと＞

落語の詳しい歴史や落語という魅力について（4） / どんな落語があるか、もっと知り、聴きたい

（3） / 立川晴の輔さんに兄弟がいるのか / 落語はどうして「落語」というのか / 他におもしろ
い話にはどのようなものがあるのか / 落語の番組には出ていないのか / 扇子でどのようなものを表
したりできるのか / 本番でセリフを囃んだ時の対処法 / 落語家は何人くらいいるのか / 落語家になるま
でに、どのくらいかかるか / どうして、めんをすする音やまねができるのか / 他の話も聞いてみた
い / どうすれば、はなし上手になれるか

4. 今日の授業を受けた感想 授業の感想 (抜粋)

◇4年生の感想

楽しかった。(3) / 落語は面白いと思った。 / すっごく面白かった。 / とても面白くて、お腹が痛くなった。笑い過ぎて、少し息ができなくて、喉が痛かったけど楽しかったです。もっと長い時間、落語を一杯聞きたかった。また、聞きたいです。楽しかったです。とても面白かった、一人で二人の役を・・・すご。 / 初めて生で落語を見たり、聞いたりできて楽しかった。見る前は、見たくも、なんともなかったけど、今日のことで落語が面白いと分かった。お話を覚えるのも大変だと思うし、聞いている人を笑わせるのも大変なので、すごいと思いました。ありがとうございました。 / 想像することが大切だと分かりました。 / 落語についていっぱい知りたくなった。話を覚えるのもすごいけど、みんなを笑わせることもすごかった。 / 先生が面白かったので、また、見たい。

◇5年生の感想

晴の輔さんの落語や話し上手のところがすごいと思いました。 / 面白くて楽しかった。 / 興味を持ちました。久しぶりにこんなに笑わせてもらいました。とても一人じゃ笑うことができないと思っていただけ、とても面白かった。 / 落語の人は「おもしろいな」と思いました。テレビとかでも見てみたいと思い、落語についてよくわかった。 / この授業で国語の想像力がついたと思います。 / はじめて落語を聞いたけれど、すごく面白くて、心に残りました。これから、もっと、落語を見てみたいと思いました。 / また、このような機会があったら、落語を聞きたいと思いました。 / とても話がじょうずで驚いた。 / 落語のおもしろい話を聞いてよかったです。 / 生で落語を見たいと思った。 / いろいろなネタがあって面白かったです。あっという間に時間が進んでたような気がしました。 / 想像力が膨らんで、とてもよい授業でした。 / 普段、なかなか生で聞けない落語を生で聞かせてもらえて、とても楽しかったです。 / 初めて生で落語を見て、とても面白かったです。ほかのお話も聞きたいです。

◇6年生の感想

面白かった。(2) / 落語はテレビでは見たことがあったけど、生で見るとちがう面白さがあると分かった。笑った！とにかく笑った！！今までの真面目な授業とちがって型破りの授業だった。もう一回見たい！晴の輔さんの落語は面白かったです。また、落語について聞く機会が欲しいです。アニメやテレビで落語ものを見たことがあるのでなじみやすかった。やはり、生で見た方が面白さが伝わってきて、楽しかったです。 / 本物の寄席にいつか行ってみたいと思いました。とても面白かったです。たまにテレビで見る落語と生で見るものとは全然違い、びっくりしました。授業も楽しく学べて、とても良かったです。 / 面白かったので、また、いつか見たくなった。今まであまり落語に興味はなかったが、今回の授業で興味がわいた。前にも聞いたことのある落語だったけど、最後の「松竹梅」の話などが面白く、落語を聞くのは楽しいと思った。 / 落語はとっても面白いものだと思います！！また、聞きたいです。落語について、私はよく知らなかったけど、とても面白かったので、興味を持ちました。 / 初めて生で落語を聞いて、とても面白いものだなと思いました。

<保護者の回答から>

40名(出席学生数の80%)の保護者が提出。
学年別: 4年生 81.3% (13名)、5年生 94.4% (17名)、6年生 76.9% (10名)



1. 今日の授業を受けて、内容に興味を持つと思いますか？

全体では31名(77.5%)の保護者が「大いに興味を持つ」と回答し、9名(22.5%)の保護者が「たぶん興味を持つ」と回答しています。

2. 今日の授業の満足度

大いに満足と回答した保護者数は40名中37名(92.5%)に達し、ほぼ満足したと回答した保護者は各学年で1名でした。満足度の高い授業だったといえます。

【大いに満足、ほぼ満足と回答した理由】(抜粋)

<4年生保護者> とても面白い授業でした。落語に興味をもってくれたらと思っていたので、いい授業でした。 / 今まで落語に縁がなかったのですが、思っていたより分かり易く、とても面白かったです。今後も落語に触れる良い機会になったと思います。これからも、なかなか触れるチャンスのない世界を知るキッカケを作っていただけの授業をお願いしたいと思います。 / 口調、話す内容など、子どもの心をつかむ、そして、さりげなく大事

なことを伝える。とても参考になりました。子どものためにもとってもためになりました。／私にとっても、人を引き付ける話し方など仕事につながる部分があり、お話が聴けて、本当にありがたかったです。／5歳にも分かり、笑えるお話でした。年齢に関係なく笑える落語は素敵ですね。／生の落語に、こんなに至近距離で触れることは滅多にないので、貴重な体験をさせて頂きました。／子どもの笑ってる顔を見たら、今日、連れて来て良かったなあと思いました。／とても楽しくて、たくさん笑いました。／初めて落語を聴こうと思って聴きました。学校の授業も面白ければ聴くのかな。おうちに晴の輔さんがいれば、本を読むのも面白いのかな、と子どもに言われ、大人の方が勉強になりました!!／子ども達が大爆笑する姿を見て素晴らしいと思いました。

<5年生保護者> 講座の間、ずっと笑っていました(親子とも)。／以前から子どもが興味を持っていて、テレビで落語を聴いて笑っていたので、良い機会を与えて頂きました。晴の輔先生のいろいろなアドバイスも目からうろこでした。読み聞かせを再開しようと思いました。／こういう日本の古典芸能に触れる機会が少ないので、子ども達にとって、とても良い経験になったと思います。／テレビよりライブで聴けるのが何倍も面白く感じます。／子どもが一番楽しみにしていた授業です。また機会があれば、是非、落語を聴いてみたいです。／小話について、話の「落ち」を考える、笑うことについての面白さを体感させて頂きました。／親子三人、お腹の底から笑わせて頂きました。娘はこれから「聴く」と「聞こえる」を意識していくと思います。／「笑点」を観たいと思いました。嫌味のない“笑い”はいいですね!伝統のあるものは、理由があるんだな、と改めて感じました。／子ども達と晴の輔さんの掛け合いが大爆笑でした。／授業と落語をミックスした内容はとても良いと思います。／さすが、噺家さん、聴衆の気持ちが一つになっていました。／想像力を使うことが少なくなった現代の子ども達、という事を改めて、お話を聴いて感じました。これから、いろいろな落語を聴いて欲しいと思います。／今朝、「わろてんか」で落語のシーンを娘(11才)と観て、大笑いしました。それから、こちらに来るのを楽しみにして参りました。笑うことができ、幸せなひと時を過ごさせて頂きました。／2月で最後の講義となりますが、休憩時間をもう少し長くしていただくと、ありがたいなと思いました。午前中に習い事があり、その後に来るので、昼食をゆっくり取れませんので、もう5分長ければと、思いました。

<6年生保護者> 笑いは大事ですね。あと、想像力も…／今後、落語に興味を持つきっかけになったと思います。子ども大学に入っていなかったら触れることなく過ごしていたと思うので、いい機会をいただけて感謝です。／テレビとは違う面白さを感じられたと思います。／落語に対して、とても興味を持てる楽しい内容だった。イメージすることが具体的に分かって、子どもに良いと思った。／子どものレベルに合わせた楽しい話、時折、大人向けの話もしていただき、とても楽しかったです。／子どもは落語が好きなので、今回の授業を楽しみにしていました。近くで聴くことができ、うれしかったです。／立川晴の輔さんの落語家になった理由がとても素敵でした。

※貴重なご意見ありがとうございました。
今後の運営に活かしたいと存じます。



スタッフミーティングから

終始会場が笑いに包まれた授業となりました。古典芸能に触れる授業は、子ども大学としても初めての試みでしたが、晴の輔先生の「本物」の力で、心に残る体験ができたのではないのでしょうか。授業の後、テレビ、ラジオ、それからライブで、ぜひ落語を楽しんでほしいなと思います。

今年度も、授業の感想文を募集します!

学生の皆さんは授業を通して、どんなことを学び、考えたでしょうか?

この1年間の授業を受けて、

- ・心に残った授業やおもしろかった授業の感想
- ・1年間を通して自分で考えたこと
- ・自分でさらに調べたこと
- ・授業について友だちや家族と話したこと

など、感想文にしてまとめてください。まとめた感想文集は学生の皆さんにお渡します。

400字詰め原稿用紙1枚程度(B4サイズ、文字はたて書き、紙は横長)、濃い文字で書いてね。

※締切は、2018年1月31日。事務局に郵便でお送りください。

「子ども大学よこはま」企画・運営

特定非営利活動法人子ども大学よこはま 〒226-0027 横浜市緑区長津田 1-22-2-38

電話 090-3903-6875 EMAIL inform@kodomodaigaku-yokohama.com

<http://www.kodomodaigaku-yokohama.com/>

<https://www.facebook.com/kodomodaigakuyokohama>